

## 令和5年度 第3回 三ヶ日西小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月9日（金）13時30分～15時30分まで
- 2 場 所 浜松市立三ヶ日西小学校 会議室
- 3 出席委員 河合 成典、藤山 美恵子、伊藤 暢洋、河合 文月、黒柳 千賀子、  
鈴木 栄男
- 4 欠席委員 夏目 勝弘
- 5 オブザーバー 井口 敏浩（三ヶ日協働センター職員）
- 6 学校支援コーディネーター 池田 易史、酒井 恵子
- 7 学 校 宮田 真由美（校長）、中村 圭介（教頭）、竹内 淳（教務主任）、  
中村 昌代（CS担当）、山田 雅美（CSディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項
  - (1) 学校関係者評価
    - ① 学校評価説明
    - ② 学校関係者評価〔本校いじめ防止等基本方針を含む〕
  - (2) 次年度の学校運営基本方針
  - (3) 学校運営協議会の自己評価
  - (4) その他
- 10 会議録作成者 CSディレクター 山田 雅美
- 11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。また、議長について池田委員が選出され、全員異議なくこれを承認した。

### (1) 学校関係者評価

議長の指示により、教務主任竹内より別紙資料に基づき①校評価説明、②関係者評価〔本校いじめ防止基本方針含む〕について説明後、委員からは、以下の発言があった。

- ・数字が伸びている所は伸ばしていきたい。（河合文月委員）
- ・目標、夢に対しての評価が低いが、目標が無ければ勉強も頑張れない。こういうことをするとこうなれる。こうなるためにはこうした方がいい、といったような教育が必要だと思う。（河合文月委員）
- ・来年度なかよし学級が増えるのは、人数が増えるのか。（河合文月委員）
- ・人数が今の倍になる。（校長）
- ・それは保護者の理解が得られているのか。（河合文月委員）
- ・保護者の理解が得られたので増やすことになり、教員も2名増員となるため、より手厚く見ることができる。（校長）
- ・なかよしのクラスで、比例反比例の授業をやっていた。とても難しい問題に取り組んでいてすごいと思った。（河合文月委員）
- ・発達支援学級の人数が、4クラスで何人になるのか。（池田委員）
- ・今は多様性の時代であり、1つのクラスに様々な子がいると考えている。  
(校長)
- ・発達支援学級についての保護者の周知はどうか。（池田委員）

- ・子供たちや教員については、朝会や集会、会議等でその都度話している。保護者への周知が課題だと思う。(校長)
- ・子供自身の認識、意識が変わっていけば、自然と保護者の意識も変わって行くのではないか。(池田委員)
- ・2年生で道徳の授業をやっていたが、先生が発表する子の方を見るように指導していたが、普段の何気ないことが道徳教育に繋がっていると思う。挨拶運動も繋がっているし、一人一人を大切にすることをすれば繋がっていくと思う。  
(河合成典委員)
- ・朝の登校の見守りしている時に、元気よく挨拶をしてくれる。(河合成典委員)
- ・学校の先生に相談できますか、の質問に対しての評価が低い、先生ではなく、親や友達、誰かに相談できていけばいいと思う。(酒井委員)
- ・自分の力が高まっているところの評価が高いので、心配しなくても成長できていると思う。(酒井委員)
- ・4月にとったアンケートと全く同じアンケートをとり、比較してみるのもいいと思う。(酒井委員)
- ・誰に相談してもいいんだよと子供たちに伝えていけたらいいと思う。  
(酒井委員)
- ・これからもさらに、家庭、地域、SC等相談できる体制を整えていく。(校長)
- ・相談できる人はいますか、に質問を変えるといいと思う。(河合文月委員)
- ・いじめを解決できたと思えますか、という質問を加えるとよいと思う。  
(河合文月委員)
- ・学校や先生に相談できますか、の質問の評価が、子供たちは低い、保護者の評価が高いのは、学校が保護者に信頼されているからと思う。(藤山委員)
- ・この先何事もない人生なんてありえないから、今のうちに様々な経験をして成長していくことが必要である。いろいろな人に対応してもらい、体験していけばいいと思う。(藤山委員)
- ・人生でいじめゼロなんてことは無いと思う。学校は真摯に対応してもらっていると思う。(池田委員)
- ・宮田校長先生が来てからは、子供たちが挨拶をするようになったと思う。  
(鈴木委員)
- ・ネット上でのいじめがあると聞き、対応がとても難しいと思う。表面に出てきていないいじめがこれからも増えていくと思う。(伊藤委員)
- ・今後もネットモラルについて指導していく。(校長)
- ・週課、日課の変更することにより、先生方に余裕ができれば、子供たちにもよい変化が見られると思う。(黒柳委員)
- ・保護者には余裕が無い方もいるので、子供、学校、家庭の協力でいじめのない学校にしていけたらいいと思う。(黒柳委員)

## (2) 次年度の学校運営基本方針

議長の指示により、校長より別紙資料に基づき次年度の学校運営基本方針についての説明後、委員からは、以下の発言があった。

- ・家庭学習の話がとてもいいと思って聞いていたが、三ヶ日中は自主学習が無いと

思っている保護者がいるみたいである。自主学習は今もあると思うのだが、知らない保護者がいるようである。なかよし学級が4クラスになることについても、保護者に発信していけたらいいと思う。（藤山委員）

- ・自主学習については、保護者の方に理解していただいている。「なかよし」という名称が適切でないという意見もあり、参観会、説明会等で周知していく予定。（校長）

次年度の学校運営基本方針について、全員異議無くこれを承認した。

### (3) 学校運営協議会の自己評価

議長の指示のより、会長から自己評価について意見を求めたところ、以下の発言があった。

〈項目1〉学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・十分にできている（鈴木委員）
- ・理解はしているが、協力の仕方ができたのかどうか、会議に出ていることが中心であったので評価が難しい。（鈴木委員）
- ・会議で熟議していただくことが大切であり、十分である。（校長）

〈項目2〉承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・150周年の行事に参加して、先生方の努力が感じられた。子供たちの笑顔で150周年の良い節目を迎えられたと思う。（黒柳委員）
- ・1年間を通じてイベントを行うことによりサポーターとして関わることができた。（河合成典委員）

〈項目3〉協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・ボランティアの募集は一生懸命できた。（酒井委員）
- ・CS 便り、HP 発信をしている。（校長）
- ・CS 便りで見ているし、会議録も HP に載っている。（河合成典委員）

〈項目4〉今年度の取り組みの評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・学校の取り組みは十分分かっているが、地域、家庭での取り組みについての周知が必要だ。（酒井委員）
- ・4月に始まった時に地域をどう巻き込むのかと言うことが話題に上がった。具体的にどのように巻き込んでいくかの方策を考える必要がある。（河合文月委員）
- ・例えば、コロナやインフルエンザで、休んだ子が登校した時に、学校支援ボランティアとして見てほしい等の要望を学校から声を上げて欲しい。

（河合文月委員）

- ・なかよし学級での支援もできることがあると思う。（河合文月委員）
- ・先生方の声をもっと聞かせて欲しい。必要なことがあれば言って欲しい。

（河合文月委員）

- ・私たちが決めて動くことができないので、学校から具体的な要望が欲しい。

（藤山委員）

- ・来年度先生方に CS メンバーを紹介する場を設けて欲しい。（酒井委員）
- ・学校アンケートの結果を案内と一緒に同封してもらえれば、事前に読むことができる。（酒井委員）

(4) 諸連絡

○来年度の委員の確認

学校運営協議会のメンバーの一部変更について報告があった。

12 その他連絡事項

特になし